



目次

CERN研修 P.1

国際教育の目的は P.2

茗溪学園は国際交流の場 P.3

2013年度国際教育活動一覧 P.4

物理学研究の最前線に触れる「CERN研修」

SSH (Super Science High School) 海外研修のひとつであるinternational survey tour and lectureは、2013年7月にスイスのCERNで実施された。CERNとは欧州原子核機構のことで、スイスのジュネーブ郊外にある、世界最大規模の素粒子物理学の研究所である。研修では、物理学研究の最前線の内容に直接触れ、その内容を英語で理解することを目標に活動を行った。

4月末から出発直前まで8回の事前研修を重ねた。事前研修では、現代物理学から原子核・素粒子物理学まで学び、現地研修の充実を図った。現地研修は、7月7日～13日の7日間で行われ、高校生6名が参加した。現地での行動の概略は、右表の通りである。

宇宙の進化の過程を知る上で、宇宙初期の高温・高エネルギー密度での物質の状態がどのようなものであったかの理解は非常に重要である。高温・高エネルギー密度下の状態は高エネルギー加速器を用いた重イオン衝突実験によって実現されると考えられており、そこに重点を置き研究しているのがALICE実験だ。11日には、ALICE実験装置の見学で、通常では入れない、地下100mにある施設に入った。

様々な講義の過半数は英語で行われたが、生徒は積極的に質問し、先生方からは「Good Question」と何度も褒められた。

現地研修の概要

7/7日	成田からジュネーブへ(31時間)。
7/8月	午前：展示施設「マイクロコスム」、コンピュータセンター、コントロールセンター見学。 CERNのLHCについての講義。 午後：一般用の概略説明とガイドツアー(超伝導磁石、LEIRなど)に参加。
7/9火	ATLAS実験装置の講義、見学。検出器の見学で地下100mに入る。 夕食は日本から派遣されている大学院生2名を囲んでの会食会。
7/10水	午前：首都ベルンのアインシュタインミュージアムにて、展示物の見学。 午後：ミュージアム学芸員からの説明を受ける。
7/11木	ATLAS実験装置の講義、見学。検出器の見学で地下100mに入る。 夕食は、日本から派遣されている大学院生2名を囲んでの会食会。
7/12金	ジュネーブから成田へ(17時間)。
7/13土	午前中に帰校。

参加した生徒のコメント

「CERN研修で発見、体験したことはたくさんありますが、なかでも研究施設中に漂っていた国際的な雰囲気にしびれました！LHCぐらい大規模な実験になると、多国間での協力が不可欠になります。それを実践して結果をだしたCERNには感動しました。科学を追究するには国籍、言語なんて関係ないということをもっと感じた研修でした。」(高1菊池夢乃さん)

「私はこの研修を通して主に二つ、物理に対する興味と英語を使って外国人と会話できるという楽しさを学んだ。物理には以前から興味を持っていたがこの研修によって大学でも物理を主に学んでいきたいと思うようになり、将来の進路を考える上でもこの研修に参加してよかったと思っている。また普段日本で暮らしていると英語で会話することは滅多にないが、この研修によりそのような貴重な体験もでき、これは自分にとって大きな自信となった。この経験から得たものはとても大きく、本当に参加して良かったと思った。」(高1羽生一貴くん)

CHRYSALIS2013で国際人へ

(高2笠原啓太郎くん)

笠原くんは12/8～15の一週間、オーストラリアのクイーンズランド大学で行われたCHRYSALIS2013に参加した。このプログラムは「ソーシャルメディア時代におけるリーダーシップ」を育成する目的で開催され、リーダーシップやソーシャルメディアの有用な使い方を、プレゼンテーションなどを通して学ぶ。参加者はオーストラリア在住の生徒と国外のインター生合わせて30名程度。国外生はシンガポールや中国、インドネシアなどアジアからの参加者が多く、日本からは2名だった。中にはケニアやエクアドルからの留学生もいた。笠原くんが印象的だったのは「Group Presentation」というCHRYSALISの中で最も大きなプログラムだ。毎日1～3時間をグループメンバーとの話し合いに使い、グループテーマの「気象変動」について、ソーシャルメディアなどを使ってどのように世界の人々に「何かしないとまずい」ということを伝えるか、発表した。



国際教育の目的は、「世界的日本人」を育成すること

英語は世界への扉を開くツール。大切なのは世界のフィールドで自分に何ができるか。

模擬国連でガーナ大使に

(高1菊池夢乃さん・藤田みのりさん)

模擬国連は、アメリカハーバード大学のクラブ活動として始まった、世界的に広まりを見せる先進的な教育プログラムだ。自国以外の第三国の大使として、国連会議のシミュレーションに参加し、現代社会の諸問題を討議する。11月16・17日に国連大学本部で開催された第7回全日本高校模擬国連大会に、菊池さんと藤田さんが参加し、ガーナ大使を務めた。ふたりは難題の「児童労働」について、ガーナの視点で資料を作成し臨んだ。しかし、会議中は他校の卓越した交渉力に圧倒され、惜しくも入賞ならず。しかし、世界へと視野を広げる貴重な体験になったようだ。



英語の力、スピーチで発揮

(高2金丸真也くん・加藤茜さん・赤間大祐くん・

高1野口優香さん・塩田円佳さん)

第1回全国高校生英語プレゼンテーションコンテストの本選が10月6日に獨協大学で行われた。金丸くんが第1位の獨協大学学長賞を、加藤さんが第5位の獨協大学同窓会賞を、また茗溪学園は英語によるプレゼンテーション教育を熱心に実践していることを評価され、教育奨励賞を受賞した。

10月13日に行われた宮城大学全国高校生英語スキット・スピーチ甲子園では、野口さんが1位を、塩田さんが2位を受賞。スピーチのテーマは「We are Global Citizens.」。



タイ高校生が日本の家庭にホームステイ

外務省国際協力センターのきずな強化プロジェクトで、タイの訪日団が来校した。来校期間の3月7日～9日、本校生徒の約30の家庭でホームステイを実施した。各家庭では、日本の家庭料理でおもてなしをし、英語とジェスチャーで会話を楽しんだ。ホームステイを体験したタイの学生は「日本の「真髄」に触れることが出来た。日本の雰囲気や日常生活上の文化習慣、技術を随所で感じた。日本人は親切でお互いに尊重し合い、古くからの伝統が保たれていることを知った。」と感想を述べてくれた。本校生徒にとっても日本にいながら国際交流ができる貴重な機会となった。



英国クライストカレッジ生短期留学

茗溪学園と長年に渡り交流がある、英国ウェールズのChrist College Brecon 校から4名の短期留学生が来校した。彼らは、昨年12月に茗溪学園の高校1年生が英国短期留学をした際、ホストとしてお世話をしてくれた生徒たちだ。今回はそのお礼も兼ねて、2月9日～22日までの滞在期間中、英国短期留学をした生徒の家庭で受け入れた。彼らは、中学生の授業で自国の文化についてプレゼンテーションしたり、行事にも参加した。茗溪生は英語劇やクロスカルチャラルトークなどの経験を生かし、英語と日本語、ジェスチャーを交えて積極的に交流をした。今年度もよい交流ができ、両校の絆がさらに深まった。



NZマクリーズ校とラグビー親善試合

9月26日～28日、SOSEP連携校のNZ Macleans Collegeラグビーチームが来校した。来校は今回で4回目だ。彼らのホームステイ先はラグビー部生徒の家庭だった。27日は4年生バディのクラス授業に参加し、放課後には茗溪ラグビー部との親善試合を行った。Macleans Collegeとの交流の歴史は長く、対戦は今回で5回目となる。過去の戦績は1勝3敗。結果は、茗溪学園が36対5で勝利した。両チームとも力を出し切り素晴らしい親善試合となった。その後、催された懇親会で両校は、今後も交流を続けていくことを誓い合った。



茗溪学園内に、外国人のいない日は一日もない。
毎日が異文化交流。

茗溪学園は国際交流の場

上記の他に以下の学校の生徒が来校した。

○ Waimea College
(ニュージーランド・ネルソン)

高校生15名が9月25日～26日に来校。

○ St. Josephs College
(オーストラリア・ヴィクトリア)

男子高校生19名が9月30日～10月4日に来校。

○ SOSEP 留学生として、ニュージーランドから6名が来校。6名のうち男子4名は7月1日より2週間、女子2名は7月6日より1週間滞在。

マレーシアからの留学生、ティエンくんからの手紙

私は鄧宇軒、34K5年A組マレーシアからの留学生です。2月7日は私の茗溪生活最後の日です。先日はお国紹介とマジックをさせて頂きました。大変ありがとうございました。最初日本に来た時「10か月どうしようかなー」と思ったものです。言葉の問題…もちろんこれは一番大きな問題でした。学校の生活、部活動は本当に楽しかったです。初めて部活に行った時、雲龍君が助けてくれました。本当にありがとうございます。そして齋藤君もいつも「Hi, How are you? I'm fine. Thank you.」と声をかけてくれました。その言い方が面白かったので、気持ちが楽になりました。茗溪学園では、たくさんの活動に参加しました。学校の授業をマレーシアと日本で比べると、日本の授業のほうが難しいです。部活も毎日あります。マレーシアでは大体金曜日と土曜日だけです。これはいい体験でした！印象に残っている事は、文化祭前に皆と一緒にクラスのアトラクションを考えたり、作ったりしたことです。それは大成功でした。～中略～

先生方、クラス、部活の友達。34Kの皆など親切にして下さった皆様に心から感謝いたします。どうもありがとうございました。もし私の国にいらっしゃったら、ぜひ連絡してください。皆、また会いましょう！

2013年度 国際教育活動一覧

茗溪学園2013年度の国際教育について

25年度は、生徒にとって国際交流のチャンスが増えた年でした。海外で活動する機会や、短期・長期留学の機会が増えたからです。また、ホームステイの受け入れが増えたので、国内にいながら外国の人々と交流した生徒もたくさんいました。ホームステイ受け入れは、中学生にとって留学を考える絶好の機会になったようです。今後も、このようなチャンスを増やしていきたいと考えています。

(国際教育部長 Steve Bird)

4月		マレーシアよりAFS長期留学生、ティエン・イーシェン君 高校1年A組の一員に
5月	(6日) (8日)	AP Chemistry AP Math
6月	(1日) (13日) (16日) (30日～7月1日)	SAT 茨城県高等学校国際教育研究協議会主催「第51回国際教育英語スピーチコンテスト」にて高校1年1名参加、「茨城県議会議長賞(第2位)」受賞 文化祭にてティエンくん、マレーシアについてのプレゼンテーション SOSEP交換留学生6名ニュージーランドより来校
7月	(7～13日)	International Survey Tour and Lecture (CERN 研修) 高校1年2名、高校2年4名参加
8月	(25日)	「国際ソロブチミスト東日本リジョン・ユース・フォーラム」高校2年生3名参加
9月	(25～26日) (25～27日) (25～27日) (30日～10月4日)	ニュージーランドのWaimea Collegeより学校訪問団来校 ニュージーランドのMacleans Collegeよりラグビー交流訪問団来校 来校米軍基地内ハイスクール交流プロジェクト 「第52回全国高等学校生徒英作文コンテスト」にて高校1年2名「入選」、高校3年1名「優良賞」、1名「入選」 オーストラリアのSt. Joseph's Collegeより学校訪問団来校 「第1回獨協大学全国高校生英語プレゼンテーションコンテスト」にて高校2年3名出場、1位、5位を受賞
10月	(10～16日) (13日)	高校2年生オーストラリア研修旅行 「宮城大学全国高校生英語スキット・スピーチ甲子園」にて高校1年生3名参加、1位と2位を受賞、また本校が「教育奨励賞」を受賞
11月	(2日) (16～17日)	SAT 「第7回全日本高校模擬国連大会」高校1年2名出場 中学2年英語劇
12月	(1～14日) (6日) (8～15日)	中学1年英語劇 SOSEP短期留学 高校1年4名英国ウェールズChrist Collegeに派遣 「日本発/世界発: 青年のメッセージ第50回国際教育弁論大会」にてティエン・イーシェンくん激励賞を受賞 オーストラリアThe University of Queensland主催International Education Services (8日間の研修)に高校2年1名、奨学生として参加
2月	(9～22日)	SOSEP短期留学生4名英国ウェールズChrist Collegeより来校 高校1年プレゼンテーションコンテスト 中学3年クロスカルチュラルトーク
3月	(3～6日) (7～9日) (15～30日) (27～30日)	Presentation with Overseas Fellowship (上海研修) 高校2年4名参加 外務省主催JENESYS 2.0プログラムにより、タイより学校訪問団来校 SOSEP短期留学 高校1年10名派遣(ニュージーランド8名、オーストラリア2名) 台湾淡江高級中学との交流プログラム、美術部とバドミントン部生徒が参加

○留学(学年は留学開始時の所属を記載)

- 高2 横田達也くん UWC留学生としてインド校に留学中
- 高2 額賀紀行くん AFS留学生としてアメリカへ留学中
- 高2 奈須真梨乃さん AFS留学生としてアメリカへ留学中
- 高1 熊谷兼人くん 英国Christ Collegeへ留学中
- 高1 田代さくらさん AFS留学生としてオーストラリアへ留学中

○帰国

- 永山瑞生さん(現高3) AFS留学生としてアメリカに留学
 - 横尾紫苑さん(現高3) EIL留学生としてフランスに留学
 - 寺島七星さん(現高2) YFU留学生としてアメリカに留学
 - 清水貴瑛さん(現高3) AFS留学生としてオーストラリアに留学
- ※3名は25年9月より、清水さんは26年1月より茗溪学園での生活を始めています。

○茗溪学園留学生

- Ee Sien Thienくん 平成25年度留学を終え、台湾へ帰国
- Kyle Martinくん アメリカより平成25年9月から、6年D組に在籍
- Anders Vestmarkくん デンマークより平成26年4月から、4年F組に在籍



茗溪学園
中学校高等学校

国際教育部

〒305-8502

茨城県つくば市稲荷前1-1

tel 029-851-6611

fax 029-851-5455

http://www.meikei.ac.jp/